

# 一般質問

## 平野和生議員

離島航路、単独維持！



問 浮島、前島両航路の統合の問題が島民の耳に入るようになって、4～5年経つが、その後の国からの要望、指導及び町としての対応はどのようになっているのか。浮島航路の定期船耐用年数も過ぎて、そろそろ乗りかえの時期に来ていると思うが、町としての考えを問う。

答（町長）補助航路維持のための改善、合理化策としての前島、浮島両航路の統合が国より提案され、その検討をしているが、統合にあたっては、大変複雑な運航形態の必要があり、長距離運航による冬場の欠航、船員の労働条件等、様々な問題があり、航路補助に

かかる県の補助制度の見直し等、統合に影響する問題



浮島航路・定期船

が生じ、統合については大変厳しい状況になっている。このような見地から「統合のための検討」から「総合的な検討」を行い、島民の足の確保のため、最善の方法を模索していきたい。「ひらい丸」の更新については、情島航路の「せと丸」と併せて国に要望しているが、他県の航路の要望も多く、実現に至っていない。引き続き国に強く要望していく。

## 小田貞利議員

カキパイプ等のゴミを捨てないための最大努力を！



問 カキパイプ等漂着資財やゴミの清掃活動は、多くのボランティアにより行われている。

旧町では、広島カキ業者と会合を持ち、流出防止、スチロール他、ゴミの回収、買取を要望してきた。新町になり3年が過ぎようとしているが、一度も会合が持たれていない。町は、広島カキ業者との協議を積極的に行い、カキパイプ等資財ゴミを海に流させないための、最大限の努力をするべきではないか！！

答（町長）合併後、協議の場は、設けられていないが、カキパイプ等漂着漁業資財の回収、買取りは継続している。現在、

広島県西部漁業振興協議会は、落下したカキパイプの回収装置の整備や、海浜清掃等を実施し、資源の回収に努めているようだ。この問題は、漂着資財の回収、送付が目的ではなく、カキパイプ等資財を流失させない事が重要と考えてあり、今後関係団体と協力して、会議の再開につとめ、カキパイプ等資財の流失防止対策の推進、自然環境の保全を図りたいと考えている。



打ち寄せられたカキパイプ